

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		TODAY児童デイサービス白金				
		R 8年3月1日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	16		・見通しを確保するため、家具の配置を最小限にし、動線を意識したレイアウトの工夫を定期的に見直している。		
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	14	2	・行動面で配慮が必要な利用者様がいる場合は、マンツーマンまたはそれに近い配置を行い、安全確保に努めている。	・職員数は充分であるが、同性介助が必要な中で男性職員の配置に苦慮することがある。	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	14	2	・大きな部屋が二つ繋がっているため、感覚過敏や情緒不安定時にも落ち着けるようクーリダウンするスペースの確保ができる。	・広さを活かした個別のスペースの構築を検討していく。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	15	1	・適時アルコール消毒などで清潔にしてからおやつ提供や支援がされていると思う。	・壁の劣化が見られるため、会社への補修依頼を働きかけていく。	
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	15	1	・活動内容や安全面を考慮し、職員の見守りのもとで場所の使い分けを行っている。	・広さを活かした個別のスペースの構築を検討していく。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	15	1	・毎日の終礼にて業務手順や対応方法の見直しや検討、その後の共有をしている。	・児童の来所までの空き時間を活用してパートさん含めみんなが参画できるような状況を作っていく。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	15	1	・評価結果を今後の支援や運営の見直しに活用している。	・周知の足りない部分がある様なので、出勤時や朝礼の際に周知を行っていく。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	14	2	・職員の意見をもとに業務改善や支援方法の検討・見直しに反映している。	・シフト制の為、全員が集まることは難しくみんなで話し合う機会が減っているが、場を設けていき話す機会を作っていきたい。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	13	3	・外部評価であがった課題を整理し、改善策を検討している。	・業務改善とのつながりについて周知することが弱い為、朝礼や出勤時に周知をする。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	16		・内部研修が定期的に行われてる。		
適切な支援の提	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	16		・個別支援計画に基づき支援内容を整理している。		
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	16		・保護者様の意向や要望を踏まえてニーズを整理、計画に反映させている。		
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	16		・複数の視点から意見を出し合い、児発管を中心として協議を行っている。		
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	16		・支援計画に基づいた支援を日々実施している。		
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	16		・日々の行動観察を通して適応行動の状況を把握している。		
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	16		・支援の実施状況を振り返り、必要に応じて見直しを行っている。		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	16		・児童の特性やニーズを踏まえた意見交換を行い、職員間で立案を協議して行っている。		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	16		・児童の状態や興味に応じて新しい活動や支援方法を定期的に取り入れている。		

供 へ の	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	16		・児童の特性やその日の状況に応じて個別活動と集団活動を組み合わせ、無理のない支援を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	16		・毎回の朝礼で当日の利用児童や体調・精神面の情報を共有し、緊急時や個別配慮が必要な児童への対応方法の確認を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	16		・毎回の終礼で支援内容や児童の様子を振り返り課題を共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	16		・日々の支援内容や児童の様子をラインワークスを通して共有し、成果や課題の振り返りを職員間で行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	16		・保護者様の意向や評価を参考に、児童の成長や変化を踏まえて見直しの必要性を判断している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	16		・複数の基本活動を組み合わせたプログラムを実施し、児童の特性や発達段階に応じて活動内容を調整している。	
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	15	1	・活動内容や過ごし方について選択肢を提示している。また、無理に選択させず段階的に自己選択を促している。	・意思決定支援の大切さを周知しつつ具体的な事例を話し合っていく。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	16		・基本的に児発管が参画しており、会議前に複数の職員からも児童の最近の様子や課題について聞き取り参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	16		・支援会議等を通して連携体制を整えている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	16		・学校からの引き渡しの際に支援内容や学校での様子を伺い、日々情報共有をしている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	16		・得られた情報を支援計画や支援内容に反映している。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	16		・関係機関と連携し円滑な移行を支援している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパー・バイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	16		・支援内容の見直しや改善に活かしている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	9	7		・安全面や児童の特性を考慮し実施が難しい状況があるが少しづつ機会を設けていたらと思う。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	15	1		・機会があれば積極的な参加を希望している。
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	16		・送迎時や連絡帳にて継続的な情報共有を行っており、成長や変化だけでなく課題についても随時共有を行っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	15	1	・保護者様からのご相談やニーズには素早く職員間で検討する場が設けられ、その後の共有もされている。	・参加型は未実施である。
保護者への	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	16		・契約時に説明を行い、書面を用いて内容の確認や必要に応じて再度説明の機会を設けている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	16		・保護者様の考え方や本人の発達段階に応じて計画内容の反映を行っている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	16		・保護者様から同意を得たうえでサービス提供を行っている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	16		・保護者様からの相談を隨時受け付けており、ご利用者様の状況を踏まえた助言や支援を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	10	6	・保護者のニーズに基づいて今後必要であれば開催を検討していく。	・交流会が過去にあったのか知らない。現在は未開催である。

説明等	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	16		・苦情対応に関する体制を整備しており、対応結果の記録や再発防止、業務改善に活かしている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	12	4		・連絡帳や作品、申し送りでの発信に限られている為、継続的な情報発信に向けた仕組み作りを進めていく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	16		・書類や記録を施錠管理している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	16		・特性上申し送りに時間を設けられないご家庭へはお電話や連絡帳を通して速やかに情報の共有を行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	8	・地域のお祭りに行く機会があったと聞いている。良い取り組みだと思う。	・今後検討していく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	13	3	・各種マニュアルを整備し、発生を想定した訓練を定期的に実施している。	・訓練は行っているが、参加職員が少ないこともあり周知が弱くなっていた。全体の周知を改めて行う。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	16		・災害発生を想定した避難訓練を定期的に実施し、児童の特性に配慮した訓練内容としている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	16		・契約時に服薬状況やてんかん発作等の既往や注意点を事前に確認し、全職員へ周知している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	16		・保護者様からの申告内容をもとに情報の把握を行っている。また、誤食等を防ぐための配慮や声かけを行っている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	16		・事故やヒヤリハット事例を共有し、安全管理を意識した支援を行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	16		・ご家庭と連携しながら安全確保に取り組んでいる。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	15	1	・ヒヤリハット事例を毎月記録、共有し原因や背景を検討の上再発防止策を協議している。	・全体への周知と対策の把握を広めていく。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	16		・研修内容を職員間で共有すると共に日常支援の中で不適切な対応が起きない様確認を行っている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等ディサービス計画に記載しているか。	16		・基準や判断手順を組織として定め、了承内容を書面で得ている。	